

文教常任委員会記録

開催日時

平成30年9月13日(木) 午前9時57分開議～午前11時53分散会

欠席委員なし

○帆秋委員長

それでは、審査に入っていきたいと思います。

初めに、継続審査中となっております、平成29年陳情第17号、大分市への科学館設置に関する陳情と平成30年陳情第7号、大分市に総合的な科学館設立を求める陳情についてでございます。

審査を行うに当たりまして、これらの2件の陳情につきましては、関連がございますので、質疑までは一括して行い、討論、採決につきましては、1件ずつ行ってまいりたいと思います。

なお、平成30年陳情第7号につきましては、先日、陳情者から、最新の科学についての説明について、補足資料の提出がございました。既に書記を通じて委員の皆様方にはお配りさせていただいておりますので、お目通しいただいていることと思います。

なお、平成29年陳情第17号につきましては、平成30年6月20日の委員会の中で、仲道委員より、具体的な場所の指定についての質問がございましたが、書記が陳情者に確認をさせていただきました。署名がついていますので、文書表の中には具体的な記載はしておりませんが、平成30年の3月12日に提出された大分市への科学館設置についての補足の資料の1枚目に具体的なイメージとして場所や内容などがあり、場所は大分市の中心部をおおむね想定しているということです。そのときと変わっていないということの確認をさせていただいておりますので、その聞き取りを行ったということもあわせて報告させていただきます。

それでは、執行部から補足説明がありましたら、お願いいたします。

○永田社会教育課長

前回6月議会の文教常任委員会以降の補足説明については、特段ございません。

○帆秋委員長

質疑等ございませんか。

〔「なし」の声〕

○帆秋委員長

それでは、これより1件ずつ討論に入っていきたいと思います。

まず、平成29年陳情第17号、大分市への科学館設置に関する陳情について、討論はございませんか。

○仲道委員

自由民主党は継続でお願いします。

これまでは、なぜ科学館が欲しいのかというところに議論が集中しておりました。大分市に科学館が欲しい、あったほうが良いというのは委員全員の思いだと思っております。

ただ、大分市に科学館がないという表現について、関崎海星館あるいはうみたまご、自然科学を扱っているそれぞれの館の職員は、小学校に講義に出向いたり、さまざまな活動をする中で、自分たちが自然科学を伝えているという強い思いがあります。それに対して議会として、総合的な科学館がない、この言葉尻を捉えるのではなくて、それぞれの職員の思いを受けとめながら、科学館はあるけれども、総合的な科学館がないから、総合的な科学館が欲しい、そういう思いであれば陳情を受けましょうという思いで審議をしてまいりました。それについて解決はいたしました。

もう一つ、具体的にどのような科学館が欲しいのか、委員としてイメージすることができませんでした。

ある程度それも確定してまいりました。

今後の議会の審議としては、実現の可能性について審議をしていかないといけないと思います。立地場所、それから予算等も含めて、これから執行部と協議する中で、果たして科学館を大分市に設置することが可能なかどうかというところを審議しながら、議会として採択、不採択、継続を判断していかなければならないと思います。実現の可能性について、今ここで判断するのは非常に難しいと思いますので、継続でお願いしたいと思います。

○帆秋委員長

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声〕

○帆秋委員長

それでは、皆さんの総意で継続審査ということの御意見のようですが、平成 29 年陳情第 17 号は継続審査ということで御異議はございませんか。

〔「異議なし」の声〕

○帆秋委員長

御異議なしと認めまして、平成 29 年陳情第 17 号につきましては、継続審査と決定いたします。

次に、平成 30 年陳情第 7 号、大分市に総合的な科学館設立を求める陳情について、討論はありませんか。

○仲道委員

同じ理由で継続でお願いします。

○帆秋委員長

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声〕

○帆秋委員長

それでは、平成 30 年陳情第 7 号は、これまでの意見を集約いたしますと、継続審査を求める意見のみでございましたので、継続審査ということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声〕

○帆秋委員長

それでは、平成 30 年陳情第 7 号につきましては、継続審査ということにさせていただきたいと思いません。